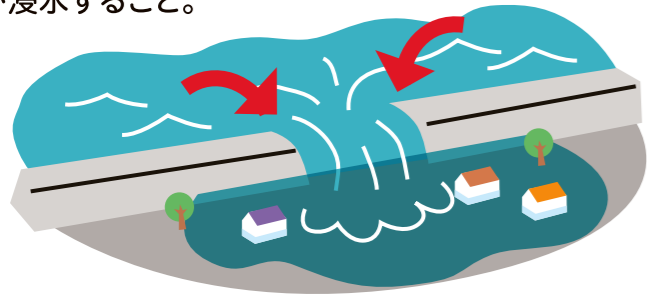


# 洪水

## 氾濫の種類

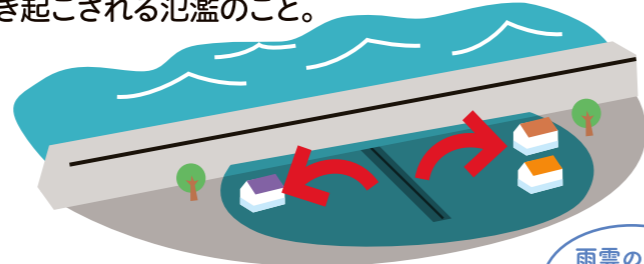
### 外水氾濫

河川の堤防から水が溢れ、または堤防が決壊して家屋や田畑が浸水すること。



### 内水氾濫

堤防から水が溢れなくても、川の水位上昇や下水路の排水能力の不足などが原因で、降った雨を排水処理できずに引き起こされる氾濫のこと。



雨雲の動き  
(高解像度降水  
ナウキャスト)



## 雨の降り方と強さ

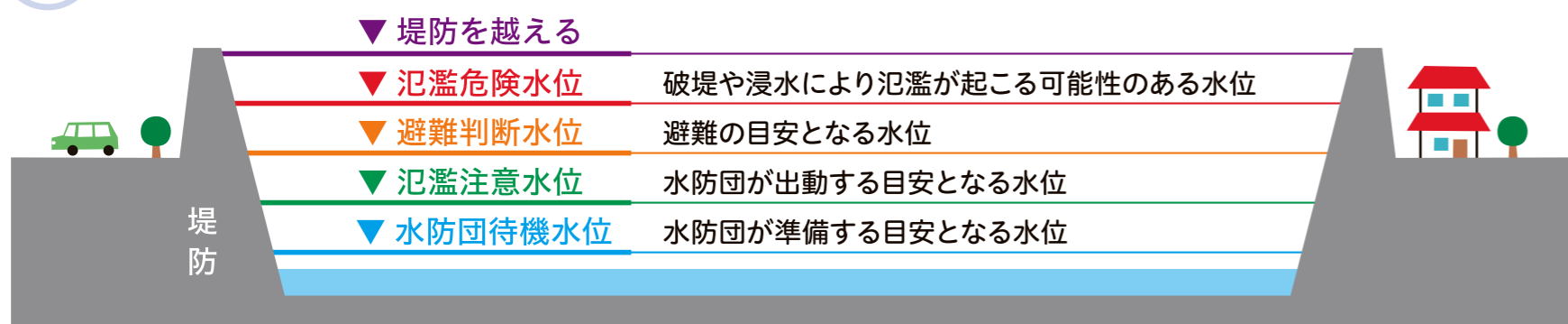
今いる場所で雨が降っていないでも、周辺や山間部で大雨が降っていたり、雷鳴が聞こえたりした場合は、急な河川の増水や局地的な大雨が降るおそれがあるため、気象情報をよく確認してください。

1時間雨量	10~20mm	20~30mm	30~50mm	50~80mm	80mm以上
予報用語	やや強い雨	強い雨	激しい雨	非常に激しい雨	猛烈な雨
人の受けるイメージ	ザーザーと降る	どしゃ降り	バケツをひっくり返したように降る	滝のように降る	息苦しくなるような圧迫感がある

## 記録的短時間大雨情報(福岡県の基準:1時間に110mm)

数年に一度程度しか発生しないような短時間の大雨を観測または解析したときに、福岡管区气象台が発表します。この情報が発表された地域では、土砂災害や浸水害、洪水害の発生につながるような猛烈な雨が降っていることを意味しています。特に土砂災害警戒区域や洪水浸水想定区域内に住む方は、避難情報を確認し、速やかに避難する必要があります。

## 河川の基準水位 ※洪水浸水想定区域内にお住まいの方は特に町からの情報に注意してください。



河川名 観測所名	彦山川		今川	中元寺川	
	伊田	添田	丸瀧	日の丸	中河内
▼ 氾濫危険水位	4.00m	※3.70m	2.75m	1.50m	2.45m
▼ 避難判断水位	3.60m	※3.40m	-	-	-
▼ 氾濫注意水位	2.80m	3.40m	1.65m	0.90m	1.53m
▼ 水防団待機水位	1.60m	2.30m	0.99m	0.54m	1.22m

国土交通省  
川の防災情報



福岡県  
河川防災情報

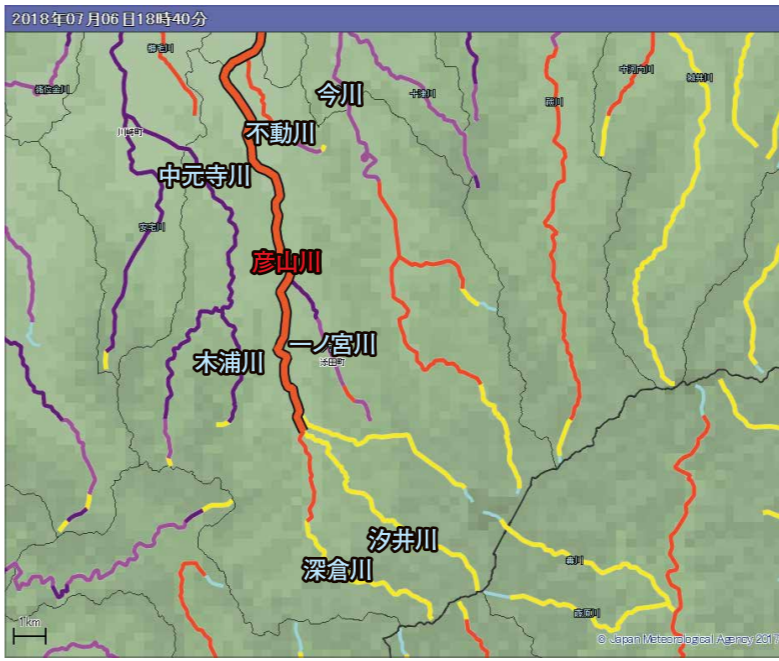


※添田観測所の氾濫危険水位(3.70m)と避難判断水位(3.40m)は目安となる数値です。また、避難判断水位と氾濫注意水位は同じ水位(3.40m)で設定しているため、降雨状況等に応じて避難情報を発令します。

## 危険度分布を確認しましょう(洪水編)

洪水警報の危険度分布 <https://www.jma.go.jp/jp/suigaimesh/flood.html>

中小河川の洪水災害発生の危険度の高まりを、5段階に色分けして示す情報です。避難にかかる時間等を考慮して、3時間先までの雨量予測値(10分ごとに更新)を用いており、洪水警報等が発表されたときに、どこで危険度が高まっているかを把握することができます。

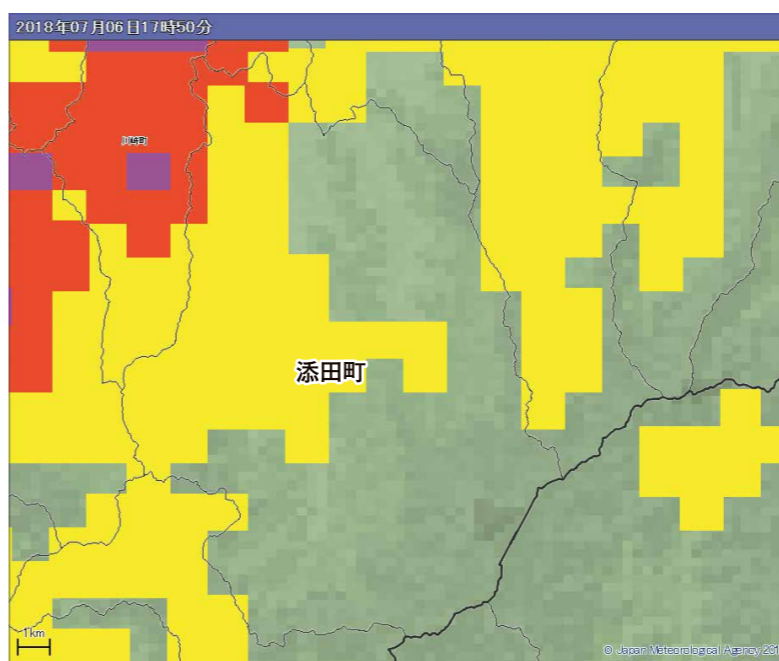


※気象庁ホームページより(一部加工)

色が持つ意味	説明
極めて危険	過去の重大な洪水発生時に匹敵する基準をすでに超過。重大な洪水災害がすでに発生しているおそれが高い極めて危険な状況。
非常に危険	中小河川がさらに増水し、今後氾濫し、重大な洪水災害となる可能性が高い状況。氾濫危険水位等を超えたら速やかに避難を開始する。
警戒(警報級)	中小河川が増水し、今後氾濫し、重大な洪水災害となる可能性がある状況。避難判断水位等を超えたら避難の準備をして早めの行動を心がける。高齢者等は速やかに避難を開始する。
注意(注意報級)	ハザードマップ等で避難行動を確認する。今後の情報や周囲の状況、雨の降り方に注意する。
今後の情報等に留意	今後の情報や周囲の状況、雨の降り方に留意する。

大雨警報(浸水害)の危険度分布 <https://www.jma.go.jp/jp/suigaimesh/inund.html>

1km四方の領域(メッシュ)ごとに、短時間の強雨などによる浸水害発生の危険度を5段階に判定した結果(10分ごとに更新)を表示しています。危険度の判定には1時間先までの雨量予測に基づく表面雨量指数の予想を用いています。



※気象庁ホームページより(一部加工)

色が持つ意味	住民等の行動の例	想定される周囲の状況例
極めて危険	この状況になる前に安全確保行動を完了する。	側溝やマンホールの場所が分からないほど道路が冠水し、交通機関の運行に影響のおそれがある。
非常に危険	周囲の状況を確認し、速やかに安全確保行動をとる。	周囲より低い場所にある家が、いつ床上浸水してもおかしくない。
警戒(警報級)	安全確保行動をとる準備をし、早めの行動を心がける。高齢者等は速やかに安全確保行動をとる。	多くの場所で側溝や下水が溢れ、いつ道路冠水してもおかしくない。周囲より低い場所にある家が、床上浸水するおそれがある。
注意(注意報級)	アンダーパスに近づかない。住宅の地下室にいる場合は速やかに退避する。	周囲より低い場所で側溝や下水が溢れ、道路冠水のおそれがある。周囲より低い場所にある家が、床上浸水するおそれがある。
今後の情報等に留意	今後の情報や周囲の状況、雨の降り方に留意する。	普段と同じ状況。

## 避難のポイント(洪水編)

長靴は水が入って歩きにくく危険です。裸足やスリッパも禁物です。なるべく運動靴をはきましょう。

大雨時の田んぼの見回りはやめましょう。

垂れ下がった電線には近づいたり、触ったりないようにしましょう。

足元が見えないことが多いので、よく通っている道でも道路の真ん中を杖をつきながら慎重に歩きましょう。

橋を渡らないようにしましょう。